

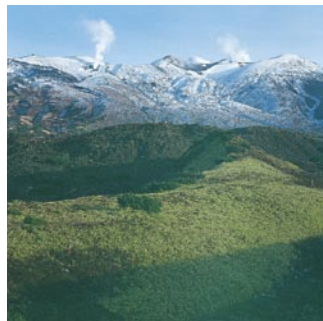
# 大雪山国立公園

日本の国立公園で最も広く、面積約22万6千ha、南北約60km、東西の幅は最大50kmにわたる地域である。北海道を代表する大河、石狩川と十勝川の源流地帯で、全域に雄大な山岳景観が展開する。公園の北部は北海道の最高峰旭岳(2,291m)を主峰とする山群である。最も利用者の多い地域であり、旭川市からの交通の便もよい。その南には広大な台地が広がり、トムラウシ山(2,141m)を経て、さらに西南部に十勝連峰が続く。主峰の十勝岳(2,077m)は活動中の火山である。また、公園東南部は森に囲まれた然別湖を中心に、糠平湖などを含む区域である。さらに、公園区域のほぼ中央部には石狩連峰がある。全域を通じて山麓は深い森林が覆い、各所に温泉が湧出している。

## 十勝連峰エリア

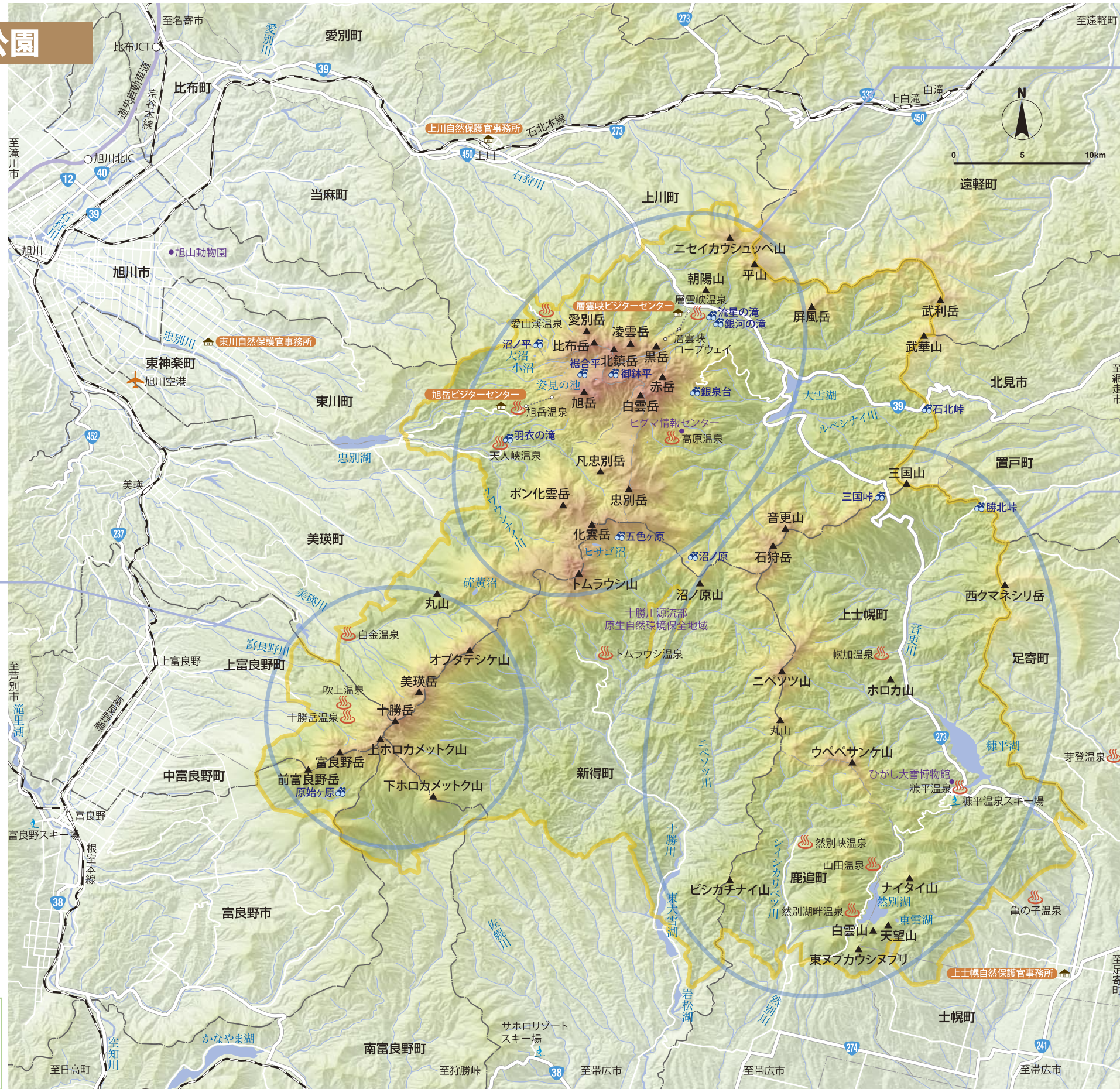
### 山麓からの遠望も雄大

表大雪エリアの南に、東北から西南方向に続く、活火山十勝岳を中央に据える標高2,000m前後の火山群。表大雪とは異なり、三角形の山々を連ねる起伏のある稜線と深い谷が交錯する。西方に緩やかな裾を引き、山麓の美瑛、上富良野方面から遠く農耕地や樹林越しに望む連山は壮観である。



十勝岳遠望

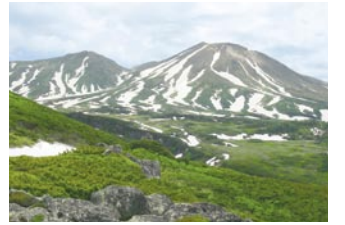
- 凡例
- 国立公園
  - ☀ 温泉
  - 🏠 ビジターセンター・自然保護官事務所
  - 👁 ビューポイント



## 表大雪エリア

### スケールの大きな山岳と峡谷

この公園の核心部で、旭岳を中心とする大雪火山群と、その南方に広がる広大な山上の台地を含む。なお、大雪山の名前は、旭岳のほか多数の火山をひとつの複合火山と見て命名された総称である。東西の山麓には深い峡谷がある。南部に立つトムラウシ山は、その山容と庭園的な美しさから、大雪山の山々の中でも大きな存在感のある山といえる。



当麻乗越から旭岳

## 東大雪エリア

### 深い森に囲まれて静まる湖

十勝川流域の地域で、東大雪の山々と、山中に静まる然別湖と人造湖ながら景観の優れた糠平湖、樹林に包まれた十勝三股など、独自の魅力を持つ山深い一帯である。また、石狩連峰は表大雪エリアとは異なる非火山性の山々である。なお、トムラウシ山東麓には、十勝川源流部原生自然環境保全地域がある。



十勝三股から石狩連峰

